

平成 29 年度事業計画

1 講座, セミナー, 育成事業 (公 1)

(1) 研修会・講習会事業

(ア) 文化財の虫菌害・保存対策研修会

目的：文化財等の虫菌害防除のために必要な基礎的知識に関する研修。

内容：文化財等保存環境の状況把握と管理，虫・カビの基礎知識，文化財 IPM の知識，虫菌害防除対策，博物館・美術館の体制等を内容とする講義。

「文化財 IPM コーディネータ」資格取得の要件。

対象者：文化財等を保存管理する博物館・美術館・資料館・図書館等の担当者・管理者，「文化財 IPM コーディネータ」資格取得者

開催時期：29 年 6 月 22 日、23 日

開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）

(イ) 文化財防虫防菌処理実務講習会

目的：文化財等に関する虫・カビの被害防除，IPM，殺虫・殺菌処理，作業における安全対策，労働衛生等に関する実務的な講習。

内容：虫とカビの被害防除処理法，燻蒸施工と安全対策の知識，適切な薬剤・器材の選択等に関する講義と実演等。

対象者：文化財等を保存管理する博物館・美術館・資料館・図書館等の担当者・管理者，文化財虫菌害防除作業主任者

開催時期：29 年 10 月 3 日、4 日

開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）

(ウ) 文化財 IPM 実践のための研修会

目的：文化財 IPM の実践的な知識と実務の習得を目的とする体験的研修。

内容：文化財等の保存環境・虫菌等の状況把握と対処法，IPM 実施のための計画・体制づくり等に関する講義と実技体験。

対象者：文化財等を保存管理する博物館・美術館・資料館・図書館等の担当者・管理者，「文化財 IPM コーディネータ」有資格者等

開催時期：29 年 11 月 9 日、10 日

開催場所：新宿区歴史博物館（東京）

(エ) 文化財 IPM コーディネータ資格取得講習会と試験

目的：「文化財 IPM コーディネータ」資格を付与するための講習と試験。

内容：IPM に関する基礎的な事項，文化財等の保存環境・虫・カビとその防除処理の基礎知識，IPM 実践に関する組織体制等に関する講習と収蔵庫・展示室のメンテナンス作業，生物被害の防除処置の実地見学と能力認定試験。

合格し資格取得の要件を満たした者は，「文化財 IPM コーディネータ」資格者として登録。

対象者：博物館・美術館・図書館・資料館・文書館等において展示，収蔵品の保管・管理，施設の維持・管理に携わる方，それらの業務を支援するボランティア，文化・文化財行政担当者，文化財に関する生物被害防除業務に携わる者等

開催時期：29 年 12 月 6 日、7 日、8 日

開催場所：東京国立博物館・東京文化財研究所

- (オ) 文化財虫菌害防除作業に関する講習会と作業主任者能力認定試験
目的：「文化財虫菌害防除作業主任者」資格を付与するための講習と試験。
内容：文化財等に関する虫・カビの基礎知識，それらによる被害と防除対策，殺虫・殺菌処理・安全対策等に関する講習と能力認定試験。
合格者は，「文化財虫菌害防除作業主任者」として登録。
対象者：文化財虫菌害防除技術者，文化財保存管理者等
開催時期：30年3月頃（3日間）
開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）

(2) 図書・資料刊行事業

(ア) 機関誌の刊行

「文化財の虫菌害」No.73（6月），No.74（12月）を刊行し，会員および各関係機関に配布する。

(イ) 文化財の虫菌害防除に関する専門的な図書・資料

紙資料を取り扱う方を対象とした，カビ防除措置の流れを示した小冊子を作成する。

2 調査，指導，研究事業（公2）

(1) 文化財等に対する虫・菌害防除に関する調査・指導事業

(ア) 総合環境調査

当研究所が文化財等の保管・管理施設に出向き，目視や環境把握のための虫用のトラップの設置，カビのサンプリング等により，施設の環境を把握診断し，対策の指導・提案等を行う。

(イ) 「調査セット」による環境調査

博物館・美術館・図書館等が簡便な方法で自ら環境把握を行うため，当研究所から昆虫・カビ調査用セットを送り，各施設の担当職員が昆虫捕獲トラップの設置・回収，付着菌のサンプリングを行い，検体を当研究所に返送してもらい，その分析結果，対処方法を報告書として提示する。

(ウ) 環境調査・防除対策設計

(ア)，(イ)を含め，博物館等各館の事情・状況に対応して，環境と虫・カビの状況把握と診断，環境管理・防除対策に関するコンサルティング，各事業の計画・設計等を行う。

(2) 虫・菌害防除のための処理（燻蒸等）の効果判定事業

虫菌害防除措置（燻蒸等）が正しく行われたかどうかの効果判定を行う。また，効果判定の結果に基づいて，文化財の燻蒸作業を行う上で適切な薬剤・器材の選択と有資格者による正しい作業を行うよう指導する。

(3) 文化財等に対する虫・菌害防除作業に関する研究事業

夏季の気温上昇や高温期の長期化に伴い，(2)に使用される効果判定用のコクゾウムシが高温条件下の保管，設置の可能性が高まっているため，高温耐性について実験・検証を行う。また文化財害虫のヒメカツオブシムシと比較し，高温耐性の差異を調べる。

3 検査・検定事業（公3）

当研究所の「文化財虫菌害防除薬剤等認定規程」に基づき，文化財に対する虫・菌害の防除のための薬剤・器材の認定とその適切な使用の確保のため，文化財虫菌害防除薬剤等認定登録を行う。